

あけてみよう!

# 歴史のとびら

174

大野城心のふるさと館のおすすめ③



## へまじないの道具・人面墨書土器

奈良時代から平安時代、自然災害や飢饉、疫病などの社会不安からさまざまな祭祀が執り行われました。祭祀では、人面墨書土器や人形、土馬などが災いを祓うために使われました。今回紹介するのは、人面墨書土器です。

人面墨書土器とは墨で人の顔を描いた土器のことです。奈良時代から平安時代初めにかけて見られ、最も多く出土するのは奈良時代の都である平城京です。そんな人面墨書土器が、市北部に位置する仲島遺跡から出土したことを知っていますか。

人面墨書土器を見てみると、怒っているような、なにか不潔そうな、そんな顔をしています。ずっと見つめているとなんだかかわいい…。そんな気もしてきますが、実はこの人面は疫病神を表現したものだといわれています。土器の底には穴があけられ、病気になる人が息を吹き込み、川や溝に流したものと考えられています。病をもたらず疫病神から身を護るために使われた「まじないの道具」だったようで、当時の人々

の心を知る貴重な資料です。

大野城心のふるさと館では、2階大野城タイムライン展示にて、人面墨書土器1点を展示しています。展示期間は3月5日(火)～4月7日(日)までです。

ちなみに大野城心のふるさと館1階「ここふるシヨップ」では、「人面墨書土器風茶碗」を販売しています。このお茶碗でごはんを食べると毎日元気に過ごせるかもしれません。

### ●問い合わせ先

心のふるさと館ミュージアム 担当 ☎(558)5000



人面墨書土器



人面墨書土器風茶碗 (絶賛販売中)

ホットな

# 消費者 ニュース

254号



## フィッシングの手口に要注意!

### 相談事例

利用している銀行から取引内容を確認して欲しいというメールが届いたので、IDとパスワードを入力した。実はそれがフィッシングメールで、自分の口座になりすまして第三者にログインされ、口座の残高約70万円が盗まれてしまった。

### アドバイス

◆事例のように、クレジットカード会社、宅配業者などの実在する組織をかたるSMS(ショートメッセージサービス)やメールを送信し、パスワードやID、暗証番号、クレジットカード番号などの個人情報を読み取る、フィッシングに関する相談が寄せられています。普段よく利用する事業者からのメッセージに見えても、まず、フィッシング詐欺の可能性を疑いましょう。

◆メールやSMSに記載されたURLには安易にアクセスしないようにしましょう。フィッシングサイトにつながる危険性があります。事業者などの正規サイトのURL

や、正規のアプリからアクセスするようにしましょう。

◆フィッシングサイトに、ID・パスワードなど重要な情報を入力してしまったと気付いた場合には、同じID・パスワードなどを使い回しているサービスを含め、すぐに変更しましょう。また、クレジットカード会社や金融機関などに連絡しましょう。

◆日頃から、クレジットカード、インターネットバンキングなどの利用明細は、こまめに確認しましょう。

※困ったときや不安なときは、一人で悩まず、消費生活センターに相談してください。

### ●市消費生活相談(予約不要)

平日 午前9時半～正午  
午後1時～4時半

市消費生活センター(市役所新館4階) ☎(580)1968

### ●消費者庁消費者ホットライン

土・日曜日、祝日  
午前10時～午後4時

☎188(局番なし)

### ●問い合わせ先

生活安全課

☎(580)1897